

横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表

事業所名	松みどり保育所
報告書作成日	2008年1月11日 (評価に要した期間3.5か月)
評価機関	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 横浜生活あんしんセンター

評価方法

自己評価方法 (実施期間:2007年9月中旬 ~2007年10月31日)	全職員に自己評価票を配布し、各自が取り組んだ結果を事務職がまとめ、研修の場で園長を中心に話し合い、確認した。
評価調査員による評価方法 (実施日:2007年11月20日・27日)	評価調査員(2名)による現地視察、書類確認、面接ヒアリング(理事長、園長、保育士、看護師、栄養士、事務職)を行った。
利用者家族アンケート実施方法 (実施期間:2007年9月下旬 ~2007年10月17日)	全園児113名に対する保護者88家族(世帯)を対象とし、事前に園長と評価機関の連名でアンケート依頼文を連絡帳に挟み込み、園から手渡し、約3週間の回答期間を設け、匿名で直接評価機関に返送してもらった。
利用者本人調査方法 (実施日:2007年11月16日)	評価調査員(2名)が0~5歳児を保育観察を行う中で、3~5歳児には直接声をかけ、聞き取り調査を行った。

評価結果についての講評

〔施設の特徴〕

松みどり保育所は JR 東海道線、横須賀線の戸塚駅、大船駅からバスで 20 分ほどの住宅街にあります。保育所名「ま・つ・み・ど・り」にちなんだ樹木＝まつ、つばき、夏みかん、どんぐり（まてば椎） 姫りんごの木々が植えられた園庭は十分な広さが確保され、保育所内にいながら自然に親しめる環境です。これらの樹木はクラス名にもなっています。

運営主体である社会福祉法人松緑会は、保育所の徒歩圏内に特別養護老人ホームも経営するなど、福祉サービスの担い手として、地域での存在感を高めてきました。『世代や障がいを超えた交流を深め、バリアフリーの心を育てたい』という願いを「幼老の環」という法人独自の考えにまとめており、当保育所もこの考えに基づいた保育サービスが提供されています。

子どもたちが同法人経営の高齢者施設を定期的に訪問し、お誕生会や暦にちなんだ昔ながらの行事を高齢者と共に楽しみながら、思いやりの心を育てています。また、外部講師による体操教室や水泳教室、英会話教室も大きな特色です。就労により習い事をさせるのが難しいという保護者の実情を反映し、多彩なプログラムが用意されています。

県営原宿団地に隣接する保育所は、昭和 53 年の開設から 30 年近くたち、卒園児が親となって子どもを入園させるケースも多くあります。保育所は、地域の子育て支援を今後の課題と捉えており、積極的なサービス提供に取り組む意向です。

〔特に優れていると思われる点〕

子どもが「食」の豊かさを実感できる取り組み

子どもが「食」を豊かに楽しめるよう、さまざまな取り組みが行われています。年齢毎に「年間食育計画」を作成し、屋外活動や野菜・果物の栽培などを盛り込みながら、食の営みを子ども自身が体験できる実践を心がけています。園庭で梅を収穫してジャムや梅干を作り、また、バケツ栽培で米作りを行い、田植えから稲刈りまで通年で体験し、収穫したお米と梅干で作ったおにぎりを味わう「おにぎりパーティ」などがその一例です。

「食」を通じて、生命の成長や季節感を育てる機会も多く設けられています。春には満開の桜の木の下で食事をとり、夏には子どもたち自身がスイカやナス、きゅうりなどを園庭の畑で栽培しています。また、秋には実った柿を収穫する「柿もぎ」も行うなど、体験を通じて季節の移り変わりを学べる工夫が随所に見られます。

毎日の給食は、栄養士が毎日各クラスの喫食状況を確認した上で、子どもの好き嫌いを克服できるよう生野菜を温野菜に変えたり、胡麻和えなどで風味をつけるなど調理法の検討を重ねています。行事食では、ハロウィンに海苔をコウモリの形に切り抜いた飾りを添えるなど“子どもの目から見て楽しい”食事の提供を工夫しています。子どもに人気のあったメニューは「給食だより」を通じて保護者に情報提供し、保育所と家庭が連携した食への取り組みを目指しています。

「食」への取り組みを支えるのは、保育士や栄養士、看護師など専門職員の連携です。アレルギーのある子どもの保護者との除去食についての話し合いには必ず栄養士が同席し、必要に応じて看護師からのアドバイスもあります。また、食事面にとどまらず保育全般に配慮の必要な子どもの保育も、栄養士や看護師が職員会議に参加して食と健康の視点から対応を確認しています。家族アンケートでも、保育所の食への取り組みに保護者の高い満足度がうかがえました。

保育目標実現にむけた様々な取り組み

一人ひとりの子どもにきめこまやかな援助をすることを念頭において、保育所では保育目標の「つよい子 よい子 やさしい子」の実現に向けた多彩な取り組みが行われています。また、これらの取り組みは、子ども本人の尊重を基本方針として実践されています。

「つよい子」＝“子ども一人ひとりの育ちにに応じた体力作り”として、毎朝の園庭での体操や体操教室、水泳教室などの活動を指導計画に取り入れています。英会話教室もジャンプしたり、ポーズをとりながら全身を使って英語表現を楽しむ子どもたちの姿が見られました。これらの活動メニューは自由参加となっており、子ども自身が「やりたい」と思うことを大切にしています。さらに、運動量に配慮が必要な子どもには一日の運動内容を確認して対応するなど、個別配慮もあります。

「よい子」＝“発達に応じた基本的生活習慣の獲得”として、子どもが自分なりの生活リズムを作れるよう働きかけています。乳児は布オムツを使用し、こまめにオムツ交換しながらスキンシップを深めています。あいさつや食事のマナー、午睡や排泄の大切さなどを、年齢や発達に合わせ、飛び出す絵本や紙芝居を活用したり、身振りや子どもが理解し易い言葉で説明し、子どもが納得できるよう援助しています。他方、子どもが遊びこんでいる時は、集中が途切れないよう見守るなど、子どもがメリハリのある時間を過ごせるような配慮があります。

「やさしい子」＝“人と関わる中で思いやりを育てること”として、同法人経営の高齢者施設への定期的な訪問を行っています。核家族の多い中、高齢者との交流は感謝や優しさを学ぶ場であると共に、車イスを押す体験等を通じてバリアフリーの心を育てる機会にもなっています。日常の保育でも、保育士が常に中腰になって子どもの目線で話を聞き、ケンカの時は双方の言い分をじっくり聞いた上で相手の立場で考えることを促すなど、互いを大切にしようという心を実践があります。

積極的な人材育成の推進

法人全体として、倫理要綱を定めて人権擁護の姿勢を明確に打ち出しています。職員の採用は法人で一括して行っており、職員全体に人権擁護の理念が浸透するよう「従業員行動指針」を掲げ、さらに「職員研修マニュアル」に、求められる職員像を記載しています。また保育技術や安全管理、健康管理、行事等の各種マニュアルを整備し、最低でも年1回のマニュアル確認を職員に義務付けることで、基本方針や目標を常に念頭においた保育の実践を職員に徹底しています。

保育所内の研修を月に1回行い、また同法人経営の高齢者施設職員と合同の研修も月1回行うなど、積極的な内部研修が行われているのも特徴です。さらに日常の保育の中でも、職員が自律的にスキルアップを行っています。たとえば、外国籍の保護者に対する対応の仕方や親子遠足の実施場所のリサーチなど必要なテーマを職員がチームを組んで検討し、さらにレポートを作成して職員間で情報共有を進めることで、内部研修の成果が保育にフィードバックされています。また、広く人権意識を養うため、法人のスケールメリットを生かした同法人経営の高齢者施設での職員派遣研修も定期的に行われています。

職員の経験年数や期待する役割に応じ、個別の「研修参加状況一覧表」を活用して段階的な外部研修への参加も推進しています。職員からの希望のほか、個々の経験や現在の職務状況、過去の研修参加状況に応じて保育所側からの呼びかけも行っています。外部研修に参加する場合には勤務時間の配慮や参加費の助成など労務的な配慮もっており、保育所をあげて、機会を捉えた積極的な人材育成を進めています。

新任職員には指導的立場の職員がマンツーマンでつき、交換ノートを活用してスキルアップを図っているほか、年に1度の事務長面談で職員の意向を汲み取ったり、園長が職員からの業務改善提案を随時受け付けるなど、職種や役職の壁をこえたコミュニケーションの良さが感じられます。職員ヒアリングでも、職員間の風通しのよさをあげる声が多く挙がっています。現場職員からの声を大切に、さらに掘り下げて保育に反映することで、職員のモチベーションの高さを維持しています。

(特に工夫や改善などを期待したい点)

さらなる保護者との連携に向けた体制づくりを

保育所では就労している保護者の負担を軽減したいという考えから、現在、保護者の組織化に向けた働きかけは行っておらず、保護者懇談会も実施されていません。しかし家族アンケートでは、保護者同士の更なる連携や交流を求める声が多数挙がっています。保護者同士が横のつながりを深める場を作ることで、個々の保護者の意見や要望がより汲み取り易くなるとともに、保育所の日々の取り組みをいっそうアピールすることもできるのではないのでしょうか。保護者が主体的に保育に関われるような協力体制づくりを期待します。

保育方針や目標については、日々の送迎時のやり取りや連絡帳、園だより、保護者参観日など、さまざまな機会を通して伝える努力をされていることが伺えました。しかし、保護者全体がどのように理解しているかを的確に把握する仕組みまでには至っていないのが残念です。保護者の意向を反映して、保育所と保護者の相互の理解を深めるためにも、保育目標や方針の理解度を確認する方法を構築し、さらに確認した結果を日々の保育に活かす仕組み作りを検討されてはいかがでしょうか。

保育の専門性を活かした地域支援を

近隣に同法人経営の高齢者施設があり、法人のスケールメリットを活かした地域の情報収集を行っています。また、保育所での行事に地域住民を招待するなど、継続的な交流もあります。こうした蓄積を生かして、より積極的に地域の子育てニーズの把握を進められてはいかがでしょうか。地域住民を招いた機会を子育て相談に活かすなど、より具体的な体制作りを期待します。

親となった卒園児の子育て相談に随時対応するなど、保育所として希望があれば保育の専門知識を提供する姿勢がありますが、定期的な園庭開放や一時保育、交流保育等については“在園児の保育を最優先にする”として、現在行われていません。地域の中には孤立し、悩みながら子育てをする保護者も少なからずいるものと思われます。そうした、隠れたニーズの掘り起こしにより、いっそう踏み込んだ地域への子育て支援を期待します。



保育サービスを広く地域へ提供する手始めとして、保育所では来年度、地域住民向け掲示板を設置し、子育ての情報提供をスタートする予定です。さらに園独自のホームページなども活かし、より広く情報提供などを行うことを検討されてはいかがでしょうか。今後も保育所の幅広い人材を活かし、他施設への講師派遣や育児講座の開催など、保育所の専門知識を広く地域に還元する取り組みを期待します。



評価機関による評価 松みどり保育所



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

評価領域 利用者（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育目標に「つよい子、よい子、やさしい子」を掲げ、法人の「従業員行動指針」にも「意思の尊重」「人権擁護」などの文言を明記し、一人ひとりを尊重した保育の実践に努めている。 ・保育目標を記載した職員マニュアルは最低年1回、内容確認と押印を職員に義務付けている。 ・基本的な生活習慣を身につけるという目標に沿い、トイレトレーニングや歯みがき指導、食事マナー指導が指導計画に取り入れられている。また体力向上のため水泳教室、体操教室を実施、さらに同法人経営の高齢者施設への定期訪問などを通じて、思いやりの心を育てられるようにしている。 ・保育計画や保育目標は入園説明会の場で「松みどりの菜」等を用いて保護者へ説明している。年度途中入所の場合は、事前の親子面接で同様の説明を行っている。変更などがある場合は、その都度園だよりや掲示等で保護者に知らせている。 ・保育計画に基づいて年齢毎に「月間保育計画案」、「週間保育計画案」を作成している。 ・日常の保育の中で子どもが納得できるような声かけに努めている。また、説明するときは、紙芝居や飛び出す絵本を利用して子どもの理解を深める工夫もある。 ・3歳児後半から当番活動を導入して子どもの自主性や主体性を育てる努力をしている。水泳教室などの特別活動も子どもの気持ちを最優先にして参加は自由となっており、柔軟な計画になっている。
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入所前の親子面接時に子どもを同伴してもらい、乳児は保育室内で保育しながら、幼児は保護者とともに面接に同席させて本人の様子を観察している。面接内容は乳児、幼児それぞれの書式に記録し、日々の保育に活かしている。 ・新たに入所した子どもには個別ノートを用意して保育所での様子を記入し保護者に伝えるほか、保護者にも家庭の様子を記入してもらい、連携を密にするよう努めている。 ・在園児への配慮として、乳児クラスでは慣らし保育中の新入園児が帰宅した後に在園児へのスキンシップを意識的に行っている。

	<p>幼児クラスでは、やりなれた保育内容を行うことで安心感を与えるなどの工夫をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導計画は担当職員で作成の上、看護師や栄養士等保育士以外の職種も参加する職員会議で確認している。実施内容について課題が生じた場合は、職員会議で検討、見直しを行っている。
<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所内は「松みどり保育所掃除マニュアル」に従い、清潔を心がけている。保育室の清掃は最低でも子どもの登園前と午睡時の1日2回行い、汚れに気づいたらそのつど対応している。 ・0、1歳児の保育室脇に沐浴設備が設けている。幼児クラス脇の浴室にも温水シャワーの設備があり、排泄の失敗時に子どものプライバシーを守りながら対応できるようになっている。 ・低年齢児は保育室内のカーペットなど敷物で、食事やおもちゃ遊びの場所を分け、必要に応じて小空間を作り出せるようにしている。幼児は食事を保育室で、午睡を多目的ホールで行うなど食事と寝る空間を意識して区別している。 <ul style="list-style-type: none"> ・朝と夕方の長時間保育時間帯は異年齢合同保育を行っている。多目的ホールや2階にある乳児用プレイスペースのほか、ピロティ（屋根のある半屋外）も異年齢交流スペースとなっている。
<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりについて、入園時の面接で聞き取った状況を「新入園児のお知らせ」という書式の「保育計画」欄に記載しているが、入園後の発達に応じた計画を0、1歳児の全ての子どもに対して毎月立案、作成するには至っていない。 ・配慮の必要な子どもについては職員会議で複数の職員で検討し、内容を記録に残している。また南部児童相談所や横浜市戸塚地域療育センターなど関係機関とのやりとりもあわせて個人毎のファイルに時系列でまとめ、経過と今後の方向が確認できるようになっている。 ・0、1歳児と特別な課題のある子どもには個別ノートを用意して、子どもの状況を確認しあい、保護者と連携した保育ができるように努めている。 ・子どもや家庭の個別状況は、進級時に保護者に個人簿を記入してもらっている。子ども一人ひとりについて、入園してから卒園までの児童票と「心身の発達記録」、さらに重要な申し送り事項をまとめてファイリングし、入園以降の子どもの状況を共有している。

- 5 保育上、特に配慮を要する
子どもへの取り組み





- ・特に配慮を要する子どもについては積極的に受け入れる姿勢があり、入園後に気になる点を職員会議で検討している。職員会議録として記録を作成し、職員むけに掲示して全職員が対応できるよう周知を図っている。
- ・車椅子で利用できるトイレがあるほか、可動式スロープが用意され、必要に応じて設置している。現在、身体障がい児はいないが、今後入園が決まった場合はさらにバリアフリーを意識した環境整備に取り組む予定である。
- ・「保育技術マニュアル（統合保育と障がい）」を整備し、全職員が障がい児保育について一貫した対応をとっている。また、横浜市開催の障がい児保育実習などにも参加して、最新の援助技術の習得に努めている。
- ・アレルギー疾患がある場合には、医師の診断書をもとに栄養士が献立を作成し、除去食材について保護者に確認をしてもらっている。代替食が必要な場合は同程度の栄養素を含むものを提供している。
- ・外国籍の保護者に対して、クリスマスや節分などの行事や国旗掲揚などの際は事前に確認している。食事内容や装飾品などについても、支障の有無を尋ねるなどの配慮をしている。

- 6 苦情解決体制



- ・玄関に苦情解決の流れや苦情受付担当者・解決責任者・第三者委員などを明記したポスターを掲示して、保護者への周知に努めている。
- ・玄関に苦情・要望等を投函できる保護者用ポストを設置しているほか、送迎時や個人面談の際に苦情も受け付けている。
- ・外部の苦情解決窓口として「かながわ福祉サービス運営適正化委員会」を案内している。
- ・保護者の苦情や要望に対する回答は原則4日以内に行い、連絡ノートや面談を通じて個別に返答するほか、他の保護者向けにも個人情報に配慮した上で掲示を行っている。保育所としての対応は文書化して「苦情・要望ファイル」に蓄積し、今後の対応に反映するように努めている。




評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育内容【遊び】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下脇や各保育室に用意された玩具や絵本、道具箱は子どもが自由に取り出して遊べるようになっている。畳敷きの保育室や、乗り物玩具で遊べる廊下、多目的ホールや園庭などそれぞれに十分な広さの年齢や発達に応じた環境が用意されている。 ・デイリープログラムには外遊びや自由遊びの時間が確保されている。子どもがひとつの遊びに熱中している時には遊びを中断しないよう、保育士はあえて声かけは行わないなど柔軟に対応し、子どもが好きな遊びを十分遊びこめるよう配慮している ・特別講師による体操教室、英語教室、水泳教室では子どもたちの発達に応じた年齢ごとのプログラムを実施している。 ・保育士は、活動の前には説明し、活動に興味や関心を持てるよう導入を行っている。 ・畑では季節の果物や野菜を栽培しており、稲を植えて稲刈りから脱穀まで子どもたちと一緒にいり米を収穫して、園庭の梅で作った梅干を使い「おにぎりパーティー」を開催するなど栽培活動を活かした取り組みを行っている。 ・ピアノが各保育室にあり、歌ったり踊ったりして楽しみながらのびのびと表現できるよう配慮している。乳児には手遊びを多く取り入れている。 ・子ども同士のけんかでは、保育士は落ち着いて話せるよう、場合によっては他の場所に当事者のみを呼び、ひとりずつ順番に話を聞くようにしている。双方の言い分をしっかりと聞き、それぞれが納得がいくように話をしている。 ・保育士は子どもたちと話すときは中腰で目線を合わせ、わかりやすい言葉で穏やかに話しかけている。 ・散歩では雑木林や畑の作物などで自然の移り変りを感じたり親子連れや馴染みの床屋さんや挨拶を交わすなど地域とのふれあいを大切にしている。 ・毎朝園庭で全園児が行う体操や、水泳教室、体操教室など積極的な健康増進のための取り組みが実践されている。一方で、運動量のチェックなど、健康状態に応じた配慮も行われている。
<p>- 1 保育内容【生活】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育を重視し、食事の年間計画の中であいさつや箸の使いかたなどクラス別の活動目標を詳細に設定し、実行している。 ・「四季の遊びクッキング」が計画されているほか、行事食を多く取り入れて盛り付けや調理方法を工夫して提供している。天気の良い日はピロティーで、春はお花見しながら食事をとるなど雰囲気作りに配慮している。


- ・給食は栄養士がカロリー計算し、毎日各クラスを回って子どもたちの様子を観察して残食や嗜好の確認をすると共に毎月園長・看護師・栄養士・調理員・保育士で「献立会議」を開催し、クラスごとの情報交換を行なっている。
- ・保育士は子どもたちと一緒に食事しながら子どものペースにあわせて声かけを行い、食べる意欲を引き出している。
- ・給食室をガラス扉に改造し、子どもたちが調理の様子を見られるようにしている。幼児は給食当番を決め、園で用意した帽子とエプロンを着用し年齢にあわせて配膳の手伝いをしている。
- ・玄関に給食のサンプルを置き、保護者にその日の献立を知らせている。また、保護者参観日には給食試食の申し込みを受け付けている。
- ・午睡時は遮光カーテンで落ち着ける雰囲気を確認している。保育士は子どもたちの間に入って背中やおなかをさすったり頭をなでるなど、安心して子どもが寝つけるように配慮している。
- ・乳幼児のけがや事故についてのマニュアルに乳幼児突然死症候群に対する対策が記載され、午睡時には必ず職員が在室して乳児の様子を確認し、うつぶせ寝をさせないよう体勢をかえるなどしている。
- ・保育士は活動の切れ目にトイレへの声かけを行っているが、個人差を尊重している。布おむつの使用については排泄の自立やこまめなおむつ替えによるコミュニケーションの増加、1日に使用した布おむつの枚数からの体調把握などに有用であると考え、入園前の面接で保護者に丁寧な説明を行い理解を得ている。



- 2 健康管理・衛生管理・安全管理〔健康管理〕









- ・健康管理や保健計画に関するマニュアルを作成し、「健康管理」「保健予防関係」「園児内科健診の受け方」等の内容を盛り込み、子どもたちの健康状況を把握している。
- ・1歳児クラスから歯ブラシ指導を行っており、使用後は歯ブラシ殺菌庫で殺菌後、保管している。磨き残しを保育士がチェックして仕上げ磨きをしている。
- ・「児童健康台帳」に既往症、予防接種、アレルギーの有無および身体測定結果等の欄があり、保護者に記入してもらった情報を記載して職員会議で共有している。
- ・「感染症マニュアル」があり、感染症の基礎知識や基本予防策等を明記して職員に周知している。登園禁止基準は「松みどりの栞」に記載した上で、保護者説明会で説明しており、いつでも保護者が確認できるようにしている。
- ・感染症に関する情報は、できるだけ早く玄関に貼り出して保護者に情報提供し、さらに再度「園だより」で周知している。0-157や頭しらみ、インフルエンザなどについては流行時期を考慮し、そ




	<p>のつど保健だよりで感染経路などの具体的な対応策を保護者に知らせている。</p>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理〔衛生管理〕</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「掃除マニュアル」「食中毒マニュアル」を用意しており、定例会議内の「マニュアル検討委員会」で既存マニュアルの改訂や新規マニュアルの周知等を行っている。新入職員は新任研修の際に、他の職員は年に1回、必ず全マニュアルに目を通して理解し、確認後押印することになっている。 ・マニュアルに基づくチェック表を作成してトイレ、調乳室、保育室、調理室等の清掃や環境整備の状況を毎日チェックし、清潔な状態を保っている。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理〔安全管理〕</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「防災訓練マニュアル」「避難訓練マニュアル」「避難経路(各階 屋上)」「火災対応マニュアル」「地震時対応マニュアル」「台風時対応マニュアル」等が整備されている。また、消防署、警察署、近隣病院など「防災関係機関緊急連絡先一覧」が明記され、事務所の棚に保管しており、必要に応じて職員が確認できるようになっている。 ・月に1度、地震または火災の避難訓練を行い「避難訓練記録」に実施内容を記録している。 ・ケガなどについては「保健連絡票」で、経過や処置、家庭で気をつけてほしいこと、看護師の見解などを記入して保護者に知らせ、さらに家での様子を記入してもらい対応している。 ・保育所への出入り口は正門1ヶ所にしており、電子錠でロックしてモニターで来訪者を確認後、開錠している。保護者には書面で、出入りの手順を知らせて協力を依頼している。迎えの保護者が代わる時には身分証明書のコピーや、電話で確認するなどの対策を取っている。
<p>- 3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「松みどり保育所職員マニュアル」内に「人権について」の項目が整備されており、場面別に呼び方、声かけの具体例が記載され、会議で研修して共通理解としている。「従業員行動指針」に人権擁護、虐待防止などを盛り込み、玄関にも掲示するとともに、気になる対応の仕方がみられたときは職員相互で注意しあうことを職員会議で確認し、実行している。 ・子ども用ベンチ、ホールの隅、2ヶ所ある階段などが、子どもたちが他の視線を意識せず過ごせる場所となっている。 ・「個人情報保護に対する基本方針」を玄関に貼り出し、保護者に周知し、保育所のホームページにも記載して問い合わせ窓口、電話番号を明示している。個人情報に関する記録は、事務所の施錠ができるロッカーに保管して、必要に応じて職員が確認できるようにしている。 ・マニュアルに「虐待について」「被虐待児について」などの記載があ

	<p>り、定義が職員に周知されており、外部研修された内容は共有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待については、外傷だけではなく、言動や表情、視線、清潔さや食欲など、気になる点を記録し、保育士と看護師が保護者と育児相談を行っている。必要な場合は専門機関と連携する体制が整っている。 ・法人として、性差による差別は広い意味での行動抑制に通じ、「身体的拘束(自由行動の束縛)」「精神的拘束(固定観念の強制形成)」につながると位置づけており、定例会議で検証している。
<p>- 4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時は必ず職員が出迎え保護者からの情報を把握すると共に体調や表情、言動、機嫌など確認し、降園時には、職員が随時子どもたちの様子を保護者に伝えている。 ・相談は随時受け入れ、内容に合わせて園長や保育士のほか看護師や栄養士なども同席し、専門職の立場からの助言も受けられるよう配慮している。相談内容は記録され、継続的に対応できるようにファイリングしている。 ・保育士は手書きでクラス毎の1日の活動内容を、「今日のできごと」として玄関前掲示板に貼り出して、保護者へ情報提供を行っている。また行事の時は、当日の写真をその日のうちに貼り出して、見てもらっている。 ・保育参観は希望により随時受け入れており、また、毎年6月に1週間参観日を設定して、英会話教室や体操教室、水泳教室など幅広い内容を保護者が参観できるように配慮している。 ・保育所では、毎日の送迎時の言葉かけや連絡帳を介したやりとり、個別面談などを通じて保護者との直接的なコミュニケーションを深めたいとしている。また、保護者組織の編成によって保護者の負担が増大するとして、保護者組織形成への積極的な後押しは、現在検討していない。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所での行事毎に町内会や近隣住民などに案内を送付し、隣接の団地自治会長には行事の案内を直接手渡ししながら情報交換するなど、地域の要望を把握できるよう努めている。 ・ 行事の際に来園した卒園児から子育ての相談を受けた事例はあるが、保育所として一般の地域住民むけ相談事業は行っておらず、相談事業を通じたニーズ把握には至っていない。 ・ 平成 18 年度より延長保育を開始するなど、保護者のニーズに応えるサービス提供に努めているが、地域の子育て支援を目指した一時保育、交流保育、園庭開放は現段階では実施していない。 ・ 職員を横浜市主催の地域子育て支援研修に参加させるなどしているが、地域住民向けの育児講座や子育て講習への保育士派遣などの取り組みは行っていない。今後は地域向け掲示板を設置して、積極的に情報提供を図る予定である。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域からの育児相談に随時対応する姿勢があるが、定期的に相談日を設けて相談を受け付けるには至っていない。 ・ 戸塚区福祉保健センター、南部児童相談所、横浜市戸塚地域療育センター、嘱託医、警察署などの関係機関連絡先を一覧にして「防災・避難訓練マニュアル」に収め、事務所に保管している。職員には年 1 回のマニュアル読み直しを義務付けており、改定時も必ず確認している。 ・ 関係機関との連携担当者を定めて窓口を一本化し、日常的な連携を進めている。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域商店街の母の日フェアにちなんで「お母さん」をテーマにした子ども達の絵を貸し出ししたり、地域の「お神輿渡御（おみこしが出ること）」に男性保育士が参加するなど、定期的に地域との交流を図っている。 ・卒園児に多目的ホールを貸し出した実績があり、地域の要望に積極的に対応する姿勢がある。法人では地域の防災備蓄庫として場所の提供も行っている。 ・幼・保・小教育交流事業に参加しているほか、地域中学生の職業体験授業や高校生ボランティアを受け入れて、学校教育との連携を積極的に進めている。また地域の小学校から送付された小学生の手書きの運動会案内状を玄関に掲示している。 ・5歳児が就学前に近隣小学校を訪問している。また同法人経営の高齢者施設に月1回以上訪問して誕生会やおもちつき、どんと焼きなどの行事に参加し、周辺他施設との交流を図っている。
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所独自のホームページで保育所の情報を公開するほか、横浜市のホームページにも情報提供している。 ・戸塚区福祉保健センターに保育所の菜とあわせて保育所が作成した「入園までの流れ」を常置してもらい、間接的な問い合わせにも対応できるようにしている。 ・問い合わせには説明資料として保育所の菜を用い、どの職員が対応しても一定の情報を提供できるようにしている。見学は保育に支障のない範囲で、希望者の要望を受け入れている。
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアや実習生受け入れにあたって、職員用のマニュアルと実習生やボランティア向けのマニュアルの2種類を用意して対応している。受け入れ時は必ずオリエンテーションを行い、注意点や園の方針を説明している。 ・ボランティア終了後に必ず感想や意見を聞く場をもうけ、参考となる意見は法人全体の会議の議題として取り上げている。ボランティアの意見から改善した事例もある。 ・実習生には観察実習や部分実習など、目的や希望に応じてプログラムを工夫している。実習期間中は毎日の反省会で実習生と担当職員が積極的に意見交換し、考察や反省点、助言を実習日誌に記載している。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「松みどり保育所事業計画」に職員の配置状況が記載され、法人理事会は保育所の運営方針を理解したうえで人材の採用および補充を決定している。保育所の理念を十分理解したうえで入職してもらっている。 ・「職員研修マニュアル(計画・理念・方針)」に福祉人材育成に共通する理念、目標、求められる職員像を明文化し、指導的職員、中堅、新任別に研修課題と施策が明確化されている。個々の職員の目標は年1回行われる事務長との個別面談で話し合わせ、1年の反省を行ったうえで新たな目標が決定される。 ・外部研修には積極的に参加を奨励し、同法人経営の高齢者施設での実地研修のほか、計画的に職務で参加する研修、職員自身が希望する研修も内容に応じて参加できる。受講の際には、自己啓発援助制度がある。 ・「研修参加状況一覧表」に年度ごとの参加研修を記録し、資格や経験年数、役割などを園長が確認したうえで、次回の研修参加計画を決定している。 ・非常勤職員の指導担当は主としてクラスのチーフ保育士と決めているが、保育については保育士に、勤務形態については事務職などに様々な職種の職員と気軽に相談できる関係である。
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの見直しは法人全体で2週間毎に開催する定例会議（保育所からは園長、保育士、栄養士等各チーフ職員が出席）で行われている。 ・職員会議は週1回以上開催され、研修を受けた保育士が講師となってエプロンシアターの習得や、ピアノの勉強会など相互に技術の向上を図っている。 ・保育所内の気になる事例については職員がそれぞれレポートを作成して自己評価した上で、園長の助言を受けている。 ・定期的に外部講師として保育技術の専門家を招き、最新の保育技術や高度な折り紙などの指導を受けている。
<p>- 3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「松みどり保育所職員マニュアル」に「職務分担表」や「組織図」があり、求められる職員像や役割などが明確化されるとともに、職員は役割に合わせ各現場での一定の裁量を任されている。 ・「要望書 依頼書」で職員からの要望や提案を取り入れている。保育士からの提案で、年齢にあった園児用ロッカーや、安全等に配慮した壁掛けテレビの購入が実現した例がある。 ・園長が日常の中で職員からの要望を聞き取っているほか、全職員に事務長が個人面談を行い満足度や要望を聞いている。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・2 週間毎に法人全体の会議を行なって経営や運営状況を確認している。保育所に関する議事録は職員向けに掲示して情報共有化を進めるほか、保護者には園だよりや玄関への掲示、また必要に応じて配布物を作成し、情報を公開している。 ・保育目標の「やさしい子」では『地球にやさしい子』も意識し、「職員マニュアル」内にごみ削減やCO2削減、緑化、地球温暖化などへの配慮を明記している。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人職員の行動指針が玄関に掲示されている。また理念と行動指針、倫理綱領を収めた「職員マニュアル」を事務所に常置し、全職員がいつでも確認できるようにしている。 ・重要な意思決定やサービス変更の際は園だよりなどの配布物で周知を行うほか、連絡帳や送迎時のやりとりなどを通じて説明を進めている。必要に応じて保護者との個別面接も行っている。 ・スーパーバイザーやグループリーダーとなる職員を「指導的職員」と位置づけ、OJT、OFF-JT、積極的な外部研修派遣等で、個々の職員に合わせた助言や指導ができるようスキルアップに努めている。
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則年2回の法人理事会、評議員会や2週間毎の法人全体の定例会議で、事業運営に影響のある情報を分析し、改善事項を検討している。 ・平成25年度までの中長期計画を作成し、施設内環境改善 施設外環境改善 地域との関わりの3つの柱からの事業の方向性を定めている。 ・主任者研修に向けた人材をピックアップしOJTや外部研修に参加させるなど、経営を担う人材としての育成を進めている。

家族アンケート取りまとめシート松みどり保育所

結果の特徴

【調査対象】

松みどり保育所の全利用（園児）113名に対する保護者88家族にアンケートを実施した。

【調査方法】

まず、事前に松みどり保育所と評価機関の連名のアンケート依頼文を連絡帳に挟み込んでもらい、その3~4日後にアンケートを依頼文と同じ方法で手渡してもらった。アンケートは約3週間の回答期間（平成19年9月28日~10月17日）を設け、直接評価機関に返送してもらった。

【回答があった利用者及び回答者の概要】

利用者総数 / 113名
 調査対象総数 / 88家族・保護者
 有効回答数 / 45通
 保護者(世帯)総数に対する回答者割合(%) / 51.1%

【回答があった利用者の内訳】

回答者の クラス	0歳児 クラス	1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	無回答
	8.9%	15.6%	8.9%	20.0%	24.4%	20.0%	2.2%

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になる。)

【利用者家族アンケート全体のコメント】

「総合の満足度」では、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせたプラスの回答が86.7%になり、個別の意見や要望はあっても全体としておおそ満足していることがうかがわれた。

項目別では給食や昼寝、おむつはずしなど『生活』についての7項目のうち、6項目で「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせたプラスの回答が90%以上になった。中でも「子どもが給食を楽しんでいるか」(満足60.0%、満足+どちらかといえば満足95.6%)「給食の献立内容」(60.0%、95.6%)などの給食についての2項目では、積極的な満足である「満足」のみで60%を超え、「どちらかといえば満足」を合わせると95%以上がプラスの回答をしている。また「どちらかといえば不満」「不満」などマイナスの回答はゼロであった。

さらに、「基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み」(93.3%)では「満足」のみで62.2%、「昼寝や休憩の対応」(97.8%)ではマイナスの回答がゼロであるなど、保育所が保育目標に掲げている基本的な生活習慣の獲得に沿った項目の満足度が高いことがうかがえた。

また、「クラス活動や遊び」(93.4%)「遊びを通じた友だちや保育者との関わり」(91.1%)「落ち着いて過ごせる雰囲気」(91.3%)「お父さんが大切にされているか」(91.1%)「子どもが保育園生活を楽しんでいるか」(97.8%)などの項目で、プラスの回答が90%を超えた。

一方で「年間の保育や行事への要望の反映」や「保護者懇談会や個別面談など話し合いの機会」では、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせたマイナスの回答が35%を超え、特に「保護者懇談会や個別面談など話し合いの機会」では、マイナスの回答(37.8%)が「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせたプラスの回答(31.1%)を超える結果となった。

さらに、「年間の保育や行事の説明」や「送り迎えの際の情報交換」「子どもに関する重要な情報の連絡体制」「相談ごとへの対応」「意見や要望への対応」などでマイナスの回答が20%を超え、保護者が更なる説明や連携を求めている様子が見えられた。また、個別の記述でも、保護者会や懇談会など話し合いの場を求める声も複数聞かれた。

調査結果

保育園の基本理念や基本方針について

(%は小数第1位までの表示とし、合計の小数第1位を四捨五入すると100%にな

あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか。	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
(人)	3	25	8	7	2	0
(%)	6.7%	55.6%	17.8%	15.6%	4.4%	0.0%



あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり共感できない	共感できない	無回答
	11	15	2	0	0	0
	39.3%	53.6%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%

保育園のサービス内容について

問2 入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	22	12	1	2	8	0
	48.9%	26.7%	2.2%	4.4%	17.8%	0.0%
	その他：・わからない(2件) ・見学はあったが、仕事のため行けなかった。 ・見学していない(4件) ・空いてすぐに入った。					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	18	18	6	1	2	0
	40.0%	40.0%	13.3%	2.2%	4.4%	0.0%
	その他：・見学に行っていない					
園の目標や方針についての説明には	12	23	5	2	2	1
	26.7%	51.1%	11.1%	4.4%	4.4%	2.2%

入園時の面接のなどで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	17	19	0	1	7	1
	37.8%	42.2%	0.0%	2.2%	15.6%	2.2%
	その他：・覚えていない(2件) ・特に何も無い。 ・面接していない(2件)					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	13	23	6	1	2	0
	28.9%	51.1%	13.3%	2.2%	4.4%	0.0%
	その他：・覚えていない ・個人的にはしていない					
費用やきまりに関する説明については（入園後に食い違いがなかったかを含めて）	18	20	4	1	2	0
	40.0%	44.4%	8.9%	2.2%	4.4%	0.0%

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	15	19	7	2	2	0
	33.3%	42.2%	15.6%	4.4%	4.4%	0.0%
	その他：・年間の行事が多い気がする。					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	9	13	10	6	7	0
	20.0%	28.9%	22.2%	13.3%	15.6%	0.0%
	その他：・わからない。 ・要望を問われたことはない ・要望をしていない。					

問4 日常の保育内容について

「遊び」について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	26	16	0	0	2	1
	57.8%	35.6%	0.0%	0.0%	4.4%	2.2%
	その他:・0才なので、まだ分からない。					
子供が戸外遊びを十分しているかについては	19	15	6	4	1	0
	42.2%	33.3%	13.3%	8.9%	2.2%	0.0%
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	17	22	6	0	0	0
	37.8%	48.9%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	16	18	5	4	1	1
	35.6%	40.0%	11.1%	8.9%	2.2%	2.2%
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	20	21	3	0	1	0
	44.4%	46.7%	6.7%	0.0%	2.2%	0.0%
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	18	18	5	1	3	0
	40.0%	40.0%	11.1%	2.2%	6.7%	0.0%
	その他:・どちらとも言えない。 ・わからない。					

「生活」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	27	16	0	0	2	0
	60.0%	35.6%	0.0%	0.0%	4.4%	0.0%
	その他：・量が少ないように感じる。もっとおかわりができるとよい。					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	27	16	0	0	2	0
	60.0%	35.6%	0.0%	0.0%	4.4%	0.0%
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	28	14	1	0	2	0
	62.2%	31.1%	2.2%	0.0%	4.4%	0.0%
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	23	21	0	0	1	0
	51.1%	46.7%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%
	その他：・わからない。					
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	22	20	1	0	1	1
	48.9%	44.4%	2.2%	0.0%	2.2%	2.2%
お子さんの体調への気配りについては	23	20	1	0	1	0
	51.1%	44.4%	2.2%	0.0%	2.2%	0.0%
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	19	20	2	2	2	0
	42.2%	44.4%	4.4%	4.4%	4.4%	0.0%
	その他：・細かく報告してくるが、そんなにしなくてもいいのでは。					

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
施設設備については	17	24	3	0	1	0
	37.8%	53.3%	6.7%	0.0%	2.2%	0.0%
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	20	22	2	0	1	0
	44.4%	48.9%	4.4%	0.0%	2.2%	0.0%
その他：・年長クラスの机のレイアウトは現在は縦列だが、コの字形にしてお互いの顔が見えるようにしたほうがよい。						
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	17	21	4	2	1	0
	37.8%	46.7%	8.9%	4.4%	2.2%	0.0%
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	18	17	6	2	2	0
	40.0%	37.8%	13.3%	4.4%	4.4%	0.0%
その他：・玄関のところに書いてあるが、気付かないときもある。						

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	2	12	10	7	14	0
	4.4%	26.7%	22.2%	15.6%	31.1%	0.0%
その他：・話し合いの機会がない(2件) ・機会がない(2件) ・保護者会などが無い。(不満に) ・先生とじっくり話す機会がなかなかない。 ・まだ参加したことがない。 ・年に1回くらいはあってもいいと思う。 ・何かある時は掲示板で連絡しているが、もっと対話したい。 ・園との話し合いの場がないので、意見を言うことができない。 ・特になし						

園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	17	19	4	3	2	0
	37.8%	42.2%	8.9%	6.7%	4.4%	0.0%
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	17	17	2	6	3	0
	37.8%	37.8%	4.4%	13.3%	6.7%	0.0%
	その他：・親子遠足の日程が1ヶ月前に決まるが、行き先も早く決めて欲しい。 ・日にちをもっと早く知らせたい。					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	12	19	7	3	3	1
	26.7%	42.2%	15.6%	6.7%	6.7%	2.2%
	その他：・どちらとも言えない。 ・何かあったときは口頭連絡。何もなくても、いい事も含め連絡ノートなどでもっと日々の報告が欲しい(無回答) ・もう少し詳しく情報を教えて欲しい。 ・あまり話をしない。					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	13	19	7	5	1	0
	28.9%	42.2%	15.6%	11.1%	2.2%	0.0%
	その他：・不明					
保護者からの相談事への対応には	10	22	6	4	3	0
	22.2%	48.9%	13.3%	8.9%	6.7%	0.0%
	その他：・相談したことがない					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	13	21	7	2	2	0
	28.9%	46.7%	15.6%	4.4%	4.4%	0.0%
	その他：・わからない。					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	21	20	2	1	1	0
	46.7%	44.4%	4.4%	2.2%	2.2%	0.0%
	その他：・どちらとも言えない。					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しているかについては	22	22	1	0	0	0
	48.9%	48.9%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	13	21	1	2	5	3
	28.9%	46.7%	2.2%	4.4%	11.1%	6.7%
	その他：・わからない(3件) ・不明					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	16	22	3	2	1	1
	35.6%	48.9%	6.7%	4.4%	2.2%	2.2%
	その他：・先生によって違うように感じる。					
意見や要望への対応については	13	16	8	4	2	2
	28.9%	35.6%	17.8%	8.9%	4.4%	4.4%
	その他：・意見箱に投函して、その後掲示板に回答している。 ・対応が良い時、良くない時とあるように感じる。					

問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	無回答
総合満足度は	14	25	4	1	1
	31.1%	55.6%	8.9%	2.2%	2.2%

利用者本人調査取りまとめシート(松みどり保育所)

結果の特徴

【調査方法】

- * 調査員が0歳から5歳までのクラスに入り、保育の流れに沿って全員を対象に「遊び」「食事」「排泄」「午睡」等の場面で、保育観察を行なった。
- * 調査員は、4～5歳児クラスでは、子どもを特定せず、給食を共にしたり、いっしょに活動に参加する中でより自然な形に配慮しながら、聞き取り調査を行なった。

【利用者本人調査の結果】

(全体のコメント)

聞き取り調査では子どもたちは緊張することなく答えてくれ、中には友達と相談したり、顔を見合わせて同意を得たうえで答えるなど、子ども同士が関係を持ちながら楽しく過ごしている様子がうかがえた。

当日は、外遊びや粘土などの室内遊びのほか、柿もぎや英語教室、近隣にある同法人の高齢者施設への訪問など、年齢に合わせ、様々なカリキュラムが用意されていたが、いずれの場面でも、子どもたちは、約束ごとを守りながら自由な発想で表現活動しており、活気があり、楽しそうな表情を見せていた。

保育士は、子どもたちが間違ったときもさりげなく訂正しており、子どもがのびのびと話しやすい雰囲気をつくっていた。子ども同士のトラブルでは、双方の話しを十分に聞き、子どもたちが納得出来るように援助を行っており、子ども同士や保育士との良好な関係がうかがえた。

【質問項目別の特徴】

- <遊び> 聞き取りをした子どもすべてが「保育園での遊びが楽しい」と答えており、かけっこ、おにごっこ、ドッジボール、おもちゃなど様々な好きな遊びをあげていた。粘土遊びなどの活動でも飽きた子どもから順番に次の遊びに移行できるように配慮されており、熱中している子どもはそのまま継続できるような言葉かけを行い、柔軟に対応している場面が見られた。
- <食事> 食事場面では、保育士は子どもたちの自主性を尊重し、年齢や発達段階に合わせて手助けや言葉かけを行っている。子どもたちは自分のペースで食事を楽しんでおり、保育士は食がすすまない子へも穏やかに声かけしていた。給食は概ねおかわりができると答えており、実際の食事の場面でも、子どもたちの「先生おかわり～」の声に保育士が応えていた。
- <排泄> トイレには、全員が保育士に了解を得れば行きたいときに行けると答えている。保育士が活動の切れ目にトイレへの声かけは行っていたが、行きたくない子どもは行かなくてもよいことも伝えていた。一斉活動などの途中でも子どもがトイレに行きたがった時には、保育士は快く了

解していた。おもしろいの時の対応についての質問では、ちょっとはずかしそうに「わからない。」と答えた子どももいたが、ほとんどの子どもは保育士が優しく手伝ってくれると回答している。

< 清潔・着替え >

トイレのあとの手洗いで、洗いが足りない子どもに保育士が洗い方の手順を示し、補助している場面がみられた。また、1歳児クラスでは、自分でズボンを脱ぐことのできる子どもに対しては、時間がかかっても保育士は手をださずに見守っており、子どものやる気を尊重していた。保育士が子どもの要求に応えて髪を結っている場面も見られた。

< 権利 > ケンカしたときの保育士の対応については、「ケンカしたことないからわからない。」という子どももいたが、「二人の話を聞いてくれる。」「先生が言ってくれる。」など、話を聞いた上で代弁し、子どもの気持ちに沿った解決が行われていることが伺えた。実際のけんかの場面でも、保育士が双方の言い分を聞いて、子どもたちが納得できるように支援をしていた。

「昼寝をしたくないときには寝なくてもいいか」という質問については、全員が「いいえ」と答えているが、実際の場面では、静かな環境の中で、子どもたちは短時間でスムーズに寝入っており、無理に寝かされている様子は観られなかった。すぐに寝付かない子どもは、保育士に背中を優しくトントンしてもらったり頭をなでてもらったりしながら、安心して眠りに入っていく様子が見られた。

< 職員対応 >

子どもたち全員が先生は優しいと答えている。保育場面でも、子どもたちの要求に穏やかに応えたり、子どもたちに感謝の言葉をかけたり、多動な子どもにはより一層わかりやすい言葉かけをして安心させるなど、良好な関係が見られた。

< その他 >

専門講師による特別活動については全員が楽しいと答えている。調査時に実施されていた英語教室では、子どもたちは笑い声を立てたり手足を存分に動かしたりして、全身で楽しそうに表現していた。園長先生と遊んだり、看護師に具合が悪くなったとき優しく見てもらったなどと答えており、実際に保育士以外の職員との良好な関係も見られた。

事業者からの意見(コメント)シート

第三者評価受審にあたり、法人理念・保育目標やサービス内容などに様々な視点から振り返り見直す機会が得ることができました。自己評価を行うことによって、職員全体が改めて日々の保育活動・サービス内容等について見直し話し合う場を設け、施設の特長・課題などを明文化していく作業の中で、改めて認識の共有化を図れたことは大変有意義なことだったと思います。

評価結果については、新たな気付きと課題を得ることができました。真摯に受け止め、今後より質の高いサービスの実践に向けて努めていきたいと思えます。また「特に優れている」と評価された点についても現状に満足することなく更なる質の向上に努めます。

最後に評価委員の皆様には長時間にわたり細部まで評価をしていただき、ありがとうございました。また、お忙しい中アンケートなどご協力して下さった保護者の皆様に感謝申し上げます。